

H27



Forest 通信 7

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.317

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**



なつかし〜ね！

カタツムリ (デンデンムシ)

ある梅雨時に、切り株のカタツムリを撮影しましたが、写真的にはこの時期を表現した風物詩と言えます。

しかし私自身がカタツムリについては専門外なので、どのような説明文を書いたものやら悩みました。図鑑からの受け売りですが、陸貝（陸に生息する腹足類）の内、殻のないものを「ナメクジ」、殻を持つものを「カタツムリ」「デンデンムシ」などと呼ぶとの事です。

それにしても最近、カタツムリの姿を見る事が稀になりました！！

今月の一句「人生も君の如くゆったりと」

(フォレストサポートスタッフ

大作 栄一郎)

二美ちゃん 富ちゃんの
vol.2



高尾山にはスギの巨木が多い。特に薬王院境内には樹齢1000年近い杉の巨木が多数存在し、特に大きいものは神の依り代としてしめ縄を張られ、1200年以前創建の古刹薬王院を、さらに神聖にして荘厳なものとしている。日本の古い神社や古刹には必ずと言っていいほど杉の巨木があり、私達日本人の精神的支柱となっている。

杉と日本人とのつきあいは長く、縄文遺跡から丸木舟が出土し、「いにしえの人の植え込む杉の枝に霞みたなびく春は来ぬらし」と万葉集に詠われるように古くから植林もされている。材質が優れ加工しやすいため、建築材や日用品に使われ、生活を豊かなものにしてきた。

学名「クリプトメリア ヤポニカ」といい、1属1種の日本固有種で、自然界には青森から屋久島まで分布している。戦後復興や高度成長期の木材需要を支えるための皆伐跡に植えられ、ふるさとの原風景にもなっているが、今では木材価格の低迷であまり利用もされず、花粉症もあり邪魔扱いである。

日本の固有種である杉に、もっと光を当てるのが、今進行中の山村の過疎や環境問題に寄与することになるのだが。高尾山の杉の巨木を眺めて、そんなことを考えた。(二美)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています

○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

森林インストラクター東京会 イベント実施報告

今年度最初の森林インストラクター東京会実施の森林ふれあい推進事業のイベント「セッコクと初夏の草花を訪ねて」が6月4日(木)実施されました。参加者は30名です。

京王線高尾山口駅を出発し、5班体制で各班5～7名と比較的少人数の編成での実施でした。当日は天候にも恵まれ、六号路・四号路とも新緑の中を快適な山歩きと森林浴ができました。サイハイランやマタタビの花、可憐なウリの花も咲いていました。



樹上に咲くセッコクの花

今回はセッコクを初めて見るという方も多かったのですが、お目当てのセッコクはこの5月が異常に暑かったこともあり、本来は満開の時期のはずが今年はやや終わりに近づいていました。それでも杉の古木に白、または淡いピンクのセッコクを堪能することができました。またサンコウチョウのさえずりを聴いた班、アサギマダラの乱舞を見た班もあり参加された皆様はそれぞれ楽しい一日を過ごされました。



緑のなかで

6月6日(土)は「初夏の親子自然観察会」を実施しました。この日も早朝から雨も上がり受付時には晴れ、絶好の観察会日和になりました。参加者は大人22名、子供20名の合計42名です。

JR高尾駅からバスで大下バス停まで行き開会式の後、6班に分かれて小下沢林道から景信山分岐広場まで参加者(親子)も班長も一緒に「おたから発見・発表ビンゴゲーム」をやりながらの自然観察会です。さまざまな発見を求めて親子で楽しくお話をしながら歩きました。また、班長からわからないことを色々教えてもらってとても楽しかったという声を数多くいただきました。昼食後はお宝発見の交流会を行いました。



自然観察

「たからもの」や「大好きなもの」の発表ではシャクトリムシ、クガビル、ミミズやバッタ、カタツムリなどの他にハート形の石、沢の音を上げたお子さんもいました。

なお6月19日(金)実施予定だった「高尾山の夏の樹木と草花ハイキング」は、多くの皆様に御参加のお申し込みいただいたのですが、残念ながら雨天のため中止になりました。

(写真・文提供 森林インストラクター東京会 永井 和久氏)



ビンゴ!

森林教室

横浜市立 谷本小学校

5月28・29日に、横浜市立谷本小学校の6年生65名が日影のキャンプ場と炭焼き小屋で森林教室を行いました。

教室1日目は、児童が整備した学校林の竹材を炭に焼く体験です。ドラム缶窯と伏せ窯を使って炭材を仕込み、交代でうちわで扇ぎ、みなへトへトになりました。

昼食後に甘い焼き芋を食べた後、丸太切りと花炭作りです。楽しそうにはしゃいでいました。

教室2日目は窯出しです。ちょっと不安でしたが良くできた竹炭にみな笑顔に。袋詰めし、大事そうに抱えていました。

午後からの森林教室では竹林の整備について勉強し、学校林を整備する意義が理解できたようです。平行して実施した森林散策では樹木の名前や森林の大切さを実感していました。

閉会式後、児童達は「さようなら！」と手を振りながら横浜へ帰るバスへと元気よく歩いて行きました。(き)



森林散策で学ぶ



たくさん取れた！



急斜面に
ドキドキ

切ま
れるっ
るす
かぐ
なに
？



森林教室

八王子市立 みなみ野小学校

6月5日(金)、八王子市立みなみ野小学校5年生106名の森林教室を、大平国有林の森林ふれあい館で行いました。当日の天気は曇り、穏やかで過ごしやすい気候になりました。

午前中は座学で森林の働きについて学び、丸太切りでいい汗を流しました。

午後は森林散策です。人があまり入らないような細い山道を息を切らして登り、午前中の講義で学んだ森林の働きについて、実際に樹木や土に触れながら復習しました。

高尾山の自然のエネルギーをたっぷりチャージして、みな元気に帰校しました。(ま)

韓国の林業関係者が 高尾山を訪問しました



6月16日、日韓交流支援センターを通じて韓国の林業関係者の皆さん12名が高尾山の森林を視察に訪れました。人工林の施業方法等について知りたいとのことでしたので、大平地区の複層林施業地にご案内しました。

一行は、森林ふれあい館で高尾山の自然や複層林施業について説明を受けた後、現地を見学しました。韓国でも複層林施業を行っている場所があるとのこと、皆さん熱心にメモをとったり質問をしていました。(S)



講義の様子

記念撮影



NEW!

information 参加者募集中!

○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

山の日記念

高尾山の夏山を歩こう



登りは赤い筋肉が脂肪を燃やし、下りで白い筋肉が糖を燃やす、バランスに優れた登山です



- 日時** 平成27年8月11日(火)
- 集合** 京王線高尾山口駅改札前 9:00
- 解散** " 15:00頃
- コース** 高尾山口駅～6号路(琵琶滝)～高尾山頂(昼食)～稲荷山コース～高尾山口駅 ※約8km、徒歩約4時間
- 実施** 森林インストラクター東京会
- 募集人員** 30名(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費** 1,700円
- 持ち物** 昼食、飲物、雨具、健康保険証など
- 服装** 活動しやすい服装、帽子、着替え、歩きやすい靴
- 備考** 小雨決行(荒天中止の場合は前日19時までに連絡します)

【申込方法】往復ハガキ

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止時などの緊急連絡用)⑤メールアドレス(あれば)⑥このイベントを何でお知りになったかを記入、返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「夏山の楽しみ方」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成27年7月28日(火) 必着



編集後記

来月8月、センター隣で開館準備中の「TAKAO 599 MUSEUM」がいよいよオープンします。各展示物が楽しみです、個人的に館内にあるカフェのメニューも気になります。(ま)

Forest通信 H27.7.1.No.317 4

NEW!

information 参加者募集中!

○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

草木染めと植物観察教室



タマネギの皮で染め物に挑戦します。植物観察や火起し、丸太切り、草笛体験も行います



- 日時** 平成27年9月27日(日)
- 集合** JR高尾駅北口 8:20
- 解散** 日影沢キャンプ場前 15:30頃
- 開催場所** 日影沢キャンプ場
- 実施** 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部
イベント番号: ③
- 募集人員** 小学生とその保護者30名(応募者多数の場合は抽選。小学生以下の児童の参加はご遠慮ください)
- 参加費** 小学生500円、大人1,000円/人(交通費等は各自負担)
- 備考** 雨天の場合中止になる場合があります

【申込方法】Eメール・FAX・郵送のいずれか

①イベント番号②参加者全員の氏名(ふりがな)、性別、年齢、学校名③代表者の方の住所、電話番号(携帯番号)、FAX、メールアドレスを記入し、お申込ください。(申込・お問合せ先)〒169-0075 新宿区高田馬場4-21-3-203 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部

Eメール: moritodenen@live.jp

FAX: 03-5338-9692 TEL: 03-3366-1233

申込〆切 平成27年8月14日(金) 必着

Forest通信 No.317

発行: 高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html

